

2019年度 東条東小学校の学校経営について

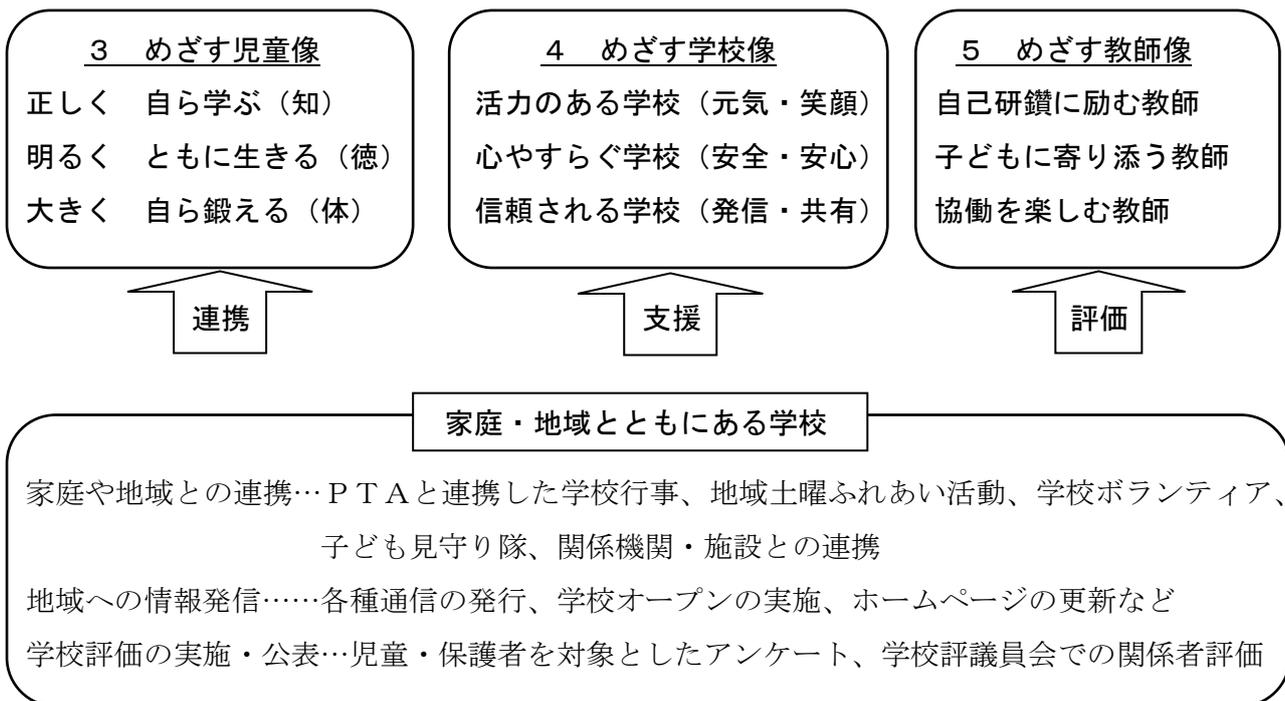
1 学校教育目標

ともに学び（自立） ともに育ち（協同） ともに生きる（共生）
～ かかわり合う大切さを求めて ～

2 経営方針

学校は、様々な集団教育活動を通して、より良い自分に高めていくために学ばせる場所である。小学校では、「ともに」を意識させ、集団生活のルールやマナーを学ばせ、社会の形成者としての基礎を育成しなければならない。それを基盤として、学び（自立）、育ち（協同）、生きる（共生）ための教育活動を通して、一人一人の子どもの力を最大限に引き出すことを目的としている。

また、東条地域小中一貫校開校2年前を迎え、義務教育9年間の一貫した指導に向けて、小学校と中学校の垣根を越えた系統性・連続性のある教育活動や取組を連携して推進する。



6 教育活動の重点課題と具体的取組

(1) 学ぶ楽しさを味わい、自ら学び、確かな学力の定着を図る。

- ・わかりやすい授業に基づく基礎・基本の定着
- ・対話による子どもの考えを深め、高める授業づくり
- ・見通しと振り返りの学習の定着
- ・読書活動の推進

- ・外国語活動の推進
- ・ICT機器の活用（タブレット等）

(2) ともに生きるために、互いを思いやり豊かな心を育てる。

- ・凡事徹底による生活習慣の確立
- ・命の大切さを実感させる道徳教育の充実
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・心が安らぐ教育環境の整備

(3) 自ら鍛え体力の向上に励むとともに、運動の楽しさを味わわせる。

- ・小鳩サーキットの定着
- ・年間を通しての体力づくり
- ・学校保健計画に基づく健康教育
- ・食育の取組の充実

(4) 心の通い合う安全・安心な学校づくりを推進する。

- ・児童理解による信頼関係づくり（コスモスノートの活用）
- ・保護者のニーズに応じた教育相談体制の充実
- ・Hyper-QUを活かした温かい学級づくり
- ・組織的な危機管理対応

(5) 子どもの自治的な活動の活性化を図る。

- ・自主的な計画や運営による児童会活動の推進
- ・小鳩班活動（異学年交流）や学校行事への主体的な参画

(6) 東条地域小中一貫校開校に向けた教育活動や取組を推進する。

- ・小小・小中間交流活動の充実
- ・家庭学習の習慣化
- ・ノート指導など小中で連携した指導
- ・小中教員による出前授業・合同研修会の実施

(7) 笑顔で子どもと向き合うために、教職員の勤務時間の適正化に努める。

- ・業務のIT化とスクラップ&ビルドによる業務改善の推進
- ・教職員定時退勤日の完全実施（原則火曜日「ノー会議デー」「ノー残業デー」）
- ・プラスワンの動きで協働性を向上